

&lt;各位&gt;

ナノキャリア株式会社  
代表取締役社長 松山 哲人  
(4571 東証マザーズ)  
問合せ先 IR担当 土屋 千映子  
電話番号 03-3241-0553

### VB-111 第Ⅲ相臨床試験が進捗 50%の国内症例登録が完了、全12施設で症例登録開始

VB-111 のプラチナ製剤抵抗性再発卵巣がんを対象とした国際共同第Ⅲ相臨床試験 (OVAL 試験) について、国内目標症例数 30 例のうち、50% (15 例) の症例登録が完了しました。また、全 12 施設での症例登録が可能となりました。

OVAL 試験は、世界で 80% (約 320 例) 以上の症例登録が完了し、目標症例数である 400 例は今年度中に登録を完了すると見込んでおります。OVAL 試験の主要評価項目は、OS (全生存期間) と PFS (無増悪生存期間) です。OS の結果取得は 2023 年を予定していますが、PFS の結果取得は 2022 年に想定され、OS より 1 年ほど早く取得できるため、良好な結果が得られれば FDA との協議により申請時期の前倒しが可能になると見込んでおります。

国内で症例登録可能な全12施設
防衛医科大学校病院
国立がん研究センター中央病院
新潟県立がんセンター
愛媛大学医学部附属病院
北海道大学病院
がん研究会有明病院
国立がん研究センター東病院
東北大学病院
岩手医科大学附属病院
愛知県がんセンター
札幌医科大学附属病院
久留米大学医学部附属病院

国内の卵巣がん罹患数は年間 10,000 人を超え、死亡者数は年間約 5,000 人に達しています。治療中またはプラチナ製剤投与後 6 か月以内に増悪が認められた、または、再発した場合にはプラチナ製剤抵抗性再発卵巣がんと判断されますが、本疾患は、標準治療がないため、新たな治療法の開発が強く求められております。

本件による 2022 年 3 月期業績への影響はございませんが、国際共同第Ⅲ相臨床試験に途中から日本が参画できたことから、開発費の削減とともに開発期間を大幅に短縮した承認取得を目指しています。当社は、本製品の承認取得/販売を通じた収益化を見込んでおります。

以上